

# つるた農事だより



△野菜のPR看板と元気に売り込む児童たち

## 自分たちで農産物を販売

11月20日(日)、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で、菖蒲川小学校と富士見小学校の5・6年生が、自分たちが育て収穫した農産物を販売しました。

菖蒲川小学校の売り場では、生食のリンゴのほかに、地元加工施設で作ったジュースやジャム、シロップ漬けなどが販売されました。

また、富士見小学校の売り場では、学校田で栽培された「つがるロマン」120キログ、

富士見小獅子舞にちなみコメの名前を「獅子米」と称して売り出されました。

各校ともパッケージに自分たちの写真が入った商品ラベルを貼って、大切に育てた農産物であることをお客様にPRしていました。

児童の元気な声で売り込む姿に、買い物客らは足を止めて買い求めていました。

## 大盛況！西北津軽産直の日



児童たちが農産物を販売した同日、あるじゃでは「西北津軽産直の日」が開催されました。

町民文化祭とも相まって、町内外から延べ8千人の買い物客が訪れ、西北津軽各地から集まった新鮮な野菜や魚介類、また、加工品や特産品などを求める買い物客らで会場は大盛況でした。

## みどりの会がリンゴを贈る



△わたしたちが生産したリンゴです

11月18日(金)、町の農業後継者団体である鶴田町みどりの会(櫻田文人会長)の皆さんが、学校給食にと28箱(約560kg)のリンゴ(サンふじ)を無償で町に提供しました。

みどりの会では、毎年会員に呼び掛け、学校給食にリンゴを提供しており、今年で7年目になります。櫻田会長は「今回贈ったリンゴはどれも一級品で、絶対おいしいですから」と延べ、地元の味をPRしていました。

## あるじゃリンゴジュース 新ラベル登場!



道の駅つるた鶴の里あるじゃで販売されているオリジナルリンゴジュースのラベルが、11月から新しくなりました。

新ラベルには、鶴田町出身の版画家藤田健次さん(八戸市在住)が、リンゴの木と鶴田の子らを題材にしたかわいい版画(写真右)がデザインされています。



とてもかわいいラベルです!

果樹経営の安心をサポートします

# 果樹共済に加入しましょう!

果樹農家のみなさまへ

※町では掛金の一部を助成します。

【広報つるた有料広告】

りんご共済  
加入よろしく  
お願いします



(ぶどう共済もあります)

## 自然災害の備えに 果樹共済

〒037-0011  
五所川原市大字金山字竹崎203番地4  
津軽広域農業共済組合  
TEL 33-1513

【24年度加入申込期限】  
平成24年3月25日まで

# がんばろう日本! 青森りんごは元気の源!

(株)津軽りんご市場

代表取締役社長 大中 忠 取締役副社長 石戸谷 繁 取締役営業部長 進藤 政光

〒038-3684 青森県北津軽郡板柳町大字三千石字二瀬21-3  
TEL 0172(72)1211 FAX 0172(72)1229